

# 会 議 録

|     |  |
|-----|--|
| 会議録 | 平成30年度 第3回 豊田市公共交通会議   |
| 次 第 | <p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバスの路線改編について</p> <p>①さなげ・足助線</p> <p>②稲武・足助線</p> <p>(2) とよたおいでんバス運行車両数の変更について</p> <p>下山・豊田線</p> <p>(3) 地域バスの路線改編等について</p> <p>①鞍ヶ池バス</p> <p>②稲武地域バス（路線定期運行）</p> <p>(4) 地域公共交通確保維持改善事業について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバスの路線改編について</p> <p>保見・豊田線</p> <p>(2) 地域バスの路線改編について</p> <p>下山地域バス（区域運行）</p> <p>(3) 鞍ヶ池地域タクシー実証実験の評価と本運行化について</p> <p>(4) 快速いなぶを利用した貨客混載の取組</p> <p>(5) たすけあいプロジェクトについて</p> <p>(6) イベント等の実施報告</p> <p>(7) 高橋の通行止めについて</p> <p>(8) 斎藤病院のバス停移設完了について</p> <p>(9) 平成30年度上半期バス利用状況について</p> <p>4 その他</p> <p>・次回会議の開催予定について</p> <p>平成31年2月13日（水）14：00～ 南庁舎51会議室にて</p> <p>5 閉 会</p> |
| 日 時 | 平成30年12月14日（金） 午後2時00分～午後3時30分   |
| 場 所 | 豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室   |

|              |   |
|--------------|---|
| 出席者<br>(敬称略) | <p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校)<br/> 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)<br/> 二輪 昭宏 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理：森)<br/> 榊原 仁 (愛知県振興部交通対策課) (代理：安藤)<br/> 岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課)<br/> 坂部 哲也 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課)<br/> 宇都野佳也 (愛知県警察豊田警察署) (代理：緒方)<br/> 岩月 正光 (豊田市都市整備部)<br/> 三宅 利幸 (豊田市区長会)<br/> 酒井 康成 (豊田市高齢者クラブ連合会)<br/> 釘宮 順子 (とよた市民活動センター運営協議会)<br/> 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会)<br/> 毛利 康浩 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会)<br/> 吉岡 実 (名鉄バス株式会社)<br/> 境 政義 (豊栄交通株式会社)<br/> 西川雄一郎 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p> |
| 資料           | 1. 次第<br>2. 平成30年度 第3回 豊田市公共交通会議 会議資料   |

#### 【協議案件】

##### (1) とよたおいでんバスの路線改編について

###### ①さなげ・足助線

○事務局 【資料1-1】に基づき説明。

○委員 検討の経緯に「道路管理者(県)と調整済み」とあるが、具体的にはどのような調整を行ったか。

○事務局 道路管理者からは、バス停移設に伴い乗降口のガードパイプに新しく開口部を設けることと移設後のバス停部分のガードパイプをふさいでおくことを指示されたため、そのように対応する予定である。それ以外に特段の指示事項はいただいている。

○委員 ガードパイプの撤去や歩車道境界ブロック等、法に基づいた手続きをお願いしたい。

<協議結果：全員承認>

###### ②稲武・足助線

○事務局 【資料1-2】に基づき説明。

意見等なし。

<協議結果：全員承認>

##### (2) とよたおいでんバス運行車両数の変更について

###### 下山・豊田線

○事務局 【資料2】に基づき説明。

意見等なし。

<協議結果：全員承認>

(3) 地域バスの路線改編等について

①鞍ヶ池バス

○事務局 【資料3-1】に基づき説明。

意見等なし。

<協議結果：全員承認>

②稲武地域バス（路線定期運行）

○事務局 【資料3-2】に基づき説明。

○委員 他県と共存することは素晴らしい。参考までに、バスを利用して根羽村から稲武に来る人はどれぐらいいるのか。

○事務局 根羽村からバスを利用して稲武地区に来る人はそれほど多くはないが、通院にバスを利用している人がいるようだ。

○委員 そういう利用者のために、運行を続けてほしい。

<協議結果：全員承認>

(4) 地域公共交通確保維持改善事業について

○事務局 【資料4】に基づき説明。

○委員 収支率は上がっているのに、利用者数が減っているのはなぜか。

○事務局 稲武地域バスについては、補助金など運賃以外の収入がありそれを加味した収支率となっている。

○委員 目標値を設定する際には補助金を加味していないが、実績を出すときには補助金を含めるとなると、目標値を達成できたかどうかは他人任せに感じてしまう。

○事務局 両地域とも利用が伸び悩んでいるのは、子どもが減少しているためである。特に、藤岡地区では中学生の利用が多いため、結果的に利用者数が減少している。そのため、藤岡地域バスではアンケートを実施して利用の掘り起こしをしていく予定であり、稲武地域バスでは観光利用を促進していく予定である。

<協議結果：全員承認>

【報告案件】

(1) とよたおいでんバスの路線改編について

保見・豊田線

○事務局 【報告1】に基づき説明。

意見等なし。

(2) 地域バスの路線改編について

下山地域バス（区域運行）

○事務局 【報告2】に基づき説明。

意見等なし

(3) 鞍ヶ池地域タクシー実証実験の評価と本運行化について

○事務局 【報告3】に基づき説明。

○委員 3月31日まで実証実験を延長することだが、さきほどの鞍ヶ池バスを3月31日で廃止するのと連動しているか。4月以降の利用者の利便性は確保されているのかが聞きたい。また、利用者数は増えているが、今後火・金曜日の運行日を増やす計画はあるか。

○事務局 乗合事業である鞍ヶ池バスについては協議案件、一般乗用事業である鞍ヶ池地域タクシーについては報告案件と、分けて協議するため分かりづらくて申し訳ない。資料3-1の「今後のスケジュール」をご覧くださいと、鞍ヶ池バスは3月31日まで休止期間を延長し廃止するが、それに代わって鞍ヶ池地域タクシーは実証実験を延長し2月の公共交通会議で評価いただき、4月1日から本運行する予定でいる。また、鞍ヶ池地域タクシーはバスの代替であるため、利用日を増加する計画はない。

#### (4) 快速いなぶを活用した貨客混載の取組

○事務局 【報告4】に基づき説明。

○委員 2月の公共交通会議で成果検証結果を示すとあるが、実証実験が3月末までなので、4月以降に再度評価を実施し本運行とするのか。

○事務局 2月の公共交通会議でいったん成果検証結果をお示しし、課題等整理・調整した上で4月からの本運行につなげたいと考えている。

#### (5) たすけあいプロジェクトについて

○事務局 【報告5】に基づき説明。

○委員 コミュニケーションアンケートの実施数が400名とあるが、事前調査の回収数を上回るのはなぜか。

○事務局 アンケートは事前調査の回答者も含まれているが、それ以外の人からも抽出し実施するためである。

○委員 今後たすけあいカーなどが発展していくと新たな地域交通の役割を担うと思う。法的根拠について情報があったら教えてほしい。

○事務局 現在はボランティア輸送としているため、道路運送法外として実施している。中山間地ではバスを運行するのが難しい地区もあるため、このようなライドシェアも公共交通にうまく組み込んでいきたいと考えている。たすけあいプロジェクトについては、次回の公共交通会議での検討を予定している。

○委員 市内の団地やまちなかに近いところでも高齢化が進んでいる。そのようなところにもボランティア輸送を検討していただけるとよい。

○事務局 移動方法の組み合わせが必要。バス、鉄道、デマンド交通、タクシーやボランティア輸送などうまく組み合わせていくことを市内全域で展開していきたい。新たな移動については公共交通会議で御報告していきたい。

#### (6) イベント等の実施報告

○事務局 【報告6】に基づき説明。

○委員 快速いなぶは通学利用が少ないと聞いていたが、こうしたイベント時にはこれだけ利用されている。

○事務局 通学の貴重な手段として利用者は伸びていると認識している。快速いなぶについては、今後も地域をあげて守り育てていきたいと考えている。

#### (7) 高橋の通行止めについて

○事務局 【報告7】に基づき説明。

○委員 豊田大橋も工事中的ようだが交通渋滞は大丈夫か。

○事務局 現在、国が豊田大橋右岸側の工事を行っているが、期間が重複しないよう、高橋の通

行止めの前には現在の工事の交通規制を解除していただくよう調整している。

(8) 斎藤病院のバス停移設完了について

- 事務局 【報告8】に基づき説明。  
意見等なし。

(9) 平成30年度上半期バス利用状況について

- 事務局 【報告9】に基づき説明。
- 委員 快速いなぶを使ったサイクリングコースのチラシを見た。利用状況はどうか。
- 事務局 7月頃までに十数件あったが、その後の利用は聞いていない。
- 委員 もっと広く宣伝すると思う。

4 その他

- 委員 今年、旭地区で落石による事故があった。道が狭い、枝が出ている等道路環境が悪い箇所もある。安全なバス運行のため、道路整備に御配慮いただけるとありがたい。
- 事務局 道路管理者も含めて整備に努めていきたいが、自然災害や獣害など突発的なこともあることを御理解いただきたい。
- 委員 先日の報道で愛知環状鉄道の駅でICカードが使用できるとあったのと、消費税増税に伴う運賃値上げについて、また地域バスでのICカード導入についての考えをお聞きしたい。
- 事務局 消費税増税に伴う運賃値上げは考えていない。また、地域バスへのICカード導入については、ハードルが高く他の方法も含めて模索しているところである。
- 委員 愛知環状鉄道でのICカード導入については、29年8月の公共交通会議で31年春にICカードの導入予定と御案内し、その後各駅の改札に機械を据え付け、31年3月2日に使用開始の予定である。今後も地域の皆様と連携して公共交通を構築するお役に立てればと考えている。
- 事務局 次回、会議の開催予定について  
平成31年2月13日(水) 14:00から開催を予定。

以上